

## 平成23年度第2回国立市立学校給食センター運営審議会記録（要旨）

日 時	平成23年9月29日（木）午後2時00分から午後4時00分
場 所	国立市立学校第一給食センター会議室
出席委員	17名
欠席委員	1名
傍 聴	2名
事務局	5名（村山所長、関主査、久下主任、原島、久保各栄養士）
議 題	①事業報告について ②学校給食費収支状況について ③平成23年度国立市立学校給食センター運営審議会の年間予定について ④その他

### 1. 開会挨拶（牧野会長）

本日はご多用の中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

議事に入る前に、前回の会議で今後の開催日程を決定した結果、参加する上で都合、日程が合わないという理由から市立学校医代表委員の七条委員から張委員に変更がありましたので紹介します。

### 2. 事業報告について

事務局から資料に基づき、前回の審議会以降本日までの給食センターにおける主な事業についての報告を行うとともに特に放射性物質に関する対応として、次のとおり報告した。

#### ①放射性物質の測定について

第2回目の検査としてキャベツ、にら、れんこんを検査した結果、放射性ヨウ素およびセシウムは検出されなかった。

9月議会で10月以降の測定に係る補正予算が可決されたことから、10月以降も同様に測定を行う。

#### ②放射性物質の検査機器の整備等について

8月2日に東京都から東京都消費者行政活性化交付金に係る追加交付希望調査があり、8月10日に放射性物質の検査機器の整備（NaIシンチレーション検知器1台：1,100,000円）と放射性物質の検査料（3品目×7ヵ月分：330,750円）を希望した。なお、機器はさらに精度のよいものが整備できないか検討している。

#### 【主な意見等】

- ・8月12日の東京自治会館における多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会合同研修会「放射線と人間の関係」について、詳細な内容を説明願いたい。

→日本獣医生命科学大学の獣医放射線学教室の藤田教授による講演で、放射性物質については大きな課題の一つではあるが、自然界には放射能が存在しており、十分な知識と理解をもつての対応が必要という内容であった。具体的には、用語や単位の定義、体内外被曝のこと、自然界の放射能についてなど基本的な内容についての講義であった。

### 3. 学校給食費収支状況について

事務局から資料に基づき、4月1日から8月31日までの学校給食費の収支状況についての報告を行った。なお、併せて監査員から監査の報告があった。

#### 【主な意見等】

- ・各月に給食費の未収入が生じている、これは同一の方という理解で良いのか。  
→個別的な理由は各種あると思う。特に年度当初は、就学援助等の手続きが生じていることも関係する。今後、給食費の督促による徴収について努めたいと考えている。
- ・現年度給食費の徴収率が96.37%と低いのは、1学期に就学援助の手続きを実施していることが原因と理解して良いのか。就学援助の申請手続きや保護者への周知のあり方が問題だと思う。8月31日現在で収支から支出の差し引き額として約2千万円あるが、何に使うものか。  
→給食用食材費で、物資の調達及び支払いなど運営の関係で残額としてある。運営の仕方はあるかもしれないが、もっと食材を豊かにできないか素朴に思う。過年度の未納給食費が約1千万円も膨らんでおり、見過ごしているとは言わないが、市は収納課が多摩の中でトップになった。収納課との連携はできないのか。  
→給食費は私費で税金などとの性格が違うため一体的な連携は難しいと判断している。
- ・就学援助は、新1年生は入学式当日、それ以外は前年度のうちに保護者にお知らせしている。(牧野会長)

### 4. 平成23年度国立市立学校給食センター運営審議会の年間予定について

事務局から、第1回運営審議会においていただいた意見を基に資料に基づき年間の予定について説明した。

#### 【主な意見等】

- ・学習会を行うとしたら11月になるのか。事務局で対応したいということだが専門家によっては見解も随分違い、いろいろな話を聞きたいと思うので、事務局対応ではない学習会の実施を希望する。  
→時期は、11月を想定している。専門家を招くとなると費用的な面と人選という2つの課題があるので、基本的な部分の学習会ということで事務局対応としたい。
- ・時間的な制約もあるので事務局が得た知識を教えてもらい、その後の審議が幹となると思う。
- ・8月12日の研修会のような自然放射能もあるのでそれほど心配する必要がないと言われるような方向での実施ではどうかと思う。

→基本的な知識の共有を目的としており、ある専門家の見解を納得していただくつもりで実施することは考えていない。

- ・放射線自体は目に見えない、肌を感じない、臭いがしないもので、専門家の話や人体の影響など多くの情報を収集し、委員の中に伝え、さらに各委員で勉強し、この会議の場で提供すれば良いと思う。
- ・視察にかかる費用を学習会に充てることができないか。  
→視察の実施は審議会の決定に委ねる。費用を充てるためには相応の手続きが生じる。
- ・視察は実施しなくても良いと思う。
- ・学習会をお願いしたい。仮に同位体研究所に視察をした場合にどのような内容となるのか。  
→現時点では、視察候補として挙げたことから、先方には対応が可能かどうか程度しか確認していない。内容は今後の打ち合わせ次第と思っている。
- ・視察自体は賛成である。実際の検査機関の現場を確認することは良いことと思う。
- ・専門家の話も聞きたいところだが、視察先も審議テーマに関連しているところであり、視察先で専門的な知識を教示してもらえないかかもしれないと思う。
- ・専門家による学習会は、その講師の選定が大きな課題だと思う。限られた任期の中で取りまとめしていくには乗り出しは事務局から基本的な部分の説明を受けることで良いと思う。
- ・審議会として、今課題である放射性物質に関する審議を重ねることは当然と思うが、ほかの議題についても対応する必要がある。
- ・現在、給食センターの耐震診断を実施しているが、その結果次第では今後どうするのかということを考えなくてはならない状況にあるので、広い立場でも運営審議会として対応できるようにしなければいけないと思う。予算や講師の選定等の課題がある中で、給食運営について審議する審議会なので、事務局が示した方向性で良いと思う。
- ・放射性物質に関する課題は、最重要課題だと思っており、他の議題もあるが審議員がしっかりと情報共有することが大事だと思う。
- ・いろいろな不安の中で一人の講師を選定することは難しいので、まずは事務局から説明を受け、その後は個人で勉強するなど良いと思う。
- ・前回の審議会で市立学校医代表委員の七条委員から説明を受けた時には、全ての方が耳を傾けていた。専門家の口から直接聞くということは意義があると感じた。

#### 【集約】

- ・任期の制約もあり、事務局で示された案を基本に内容を充実していくこととする。
- ・放射性物質に関する議題以外についても必要に応じて盛り込んでいくこととする。

## 5. その他

#### 【委員から】

- ・現在、お弁当を希望している方はどれくらいいるのか。  
→13名程度。

- ・前回の会議で給食センターの耐震診断の中間的な報告で、耐震診断は大丈夫という方向が報告されたが、どのように大丈夫なのか。

→耐震診断の結果は数値で示され、確か0.6以上であれば大丈夫とされ、中間的な報告では1.0近くの数値が出るのではないかということであった。

#### 【事務局から】

- ・9月28日に群馬県において東毛酪農業協同組合の原乳が検体として検査され、セシウム134が0.4Bq/kg、セシウム137が1.1Bq/kg検出されたが、食品衛生法の暫定規制値を大幅に下回っている。なお、ヨウ素は検出されなかった。
- ・今後は、審議会の議事録（要約）を作成し各委員に配布するとともにホームページで公表していくこととしたい。

#### 6. 閉会挨拶（牧野会長）

長時間にわたり、意見、考え、思いなどを熱心に出していただきありがとうございました。

次回は、11月24日の木曜日となりますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、第2回学校給食センター運営審議会を終了します。